



中川分団の詰所兼蔵置所

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

12/11 開催
付託議案 5件
請願 1件

西条市消防団条例の 一部を改正する条例

Q 統合による影響は？

A 桜樹分団と中川分団を統合することにより、桜樹地区の消防団員数は減少することになるが、中川分団は統合前より大きな組織で活動することになるため、初動時の参集や交代要員の確保など、消防力の向上と活動環境の改善などにつながるものと考えている。

Q 団員定数と、実員数についての考えは？

A 今回の条例改正では、全体的な定数の見直しまでは盛り込んでおらず、現状の消防団員定数維持を目標に、団員の勧誘に努めている。

また、消防団活性化委員会においても、入団促進対策についての協議を行い、いっそうの入団促進に取り組みたいと考えている。

ふるさと納税促進事業

Q 増額した理由は？

A 全国的にふるさと納税制度の周知が進んだことで、本市への寄附額も増加傾向にあり、当初7億円であった寄附見込額が、令和2年度末で9億円まで増加すると見込んでいる。更に、最終的に9億円を上回ることも想定されることから、事業者への支払いに支障をきたさないよう関係予算を増額した。

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

12/10 開催
付託議案 13件

四国鉄道文化館 設置及び管理条例の 一部を改正する条例

Q 開館時間短縮の理由は？

A 入館者数を調査した結果、午後5時から午後6時までの入館者は全体の1パーセント程度であり、開館時間短縮による収入減少額は11万5千円程度であるが、電気代や人件費などで113万円程度の経費削減が見込まれるため、閉館時間を現在の午後6時から午後5時に変更する。

今回の変更は、全庁的な見直しにより開館時間の短縮を行うものであり、他の多くの施設の閉館時間が午後5時であることや利用者の多くが子どもであることから、影響は小さいものと判断している。今後もコスト削減を図るとともに、サービス維持に努め、持続可能な施設運営を目指したい。

農地中間管理機構 集積協力金交付事業

Q 事業内容と実績は？

A この事業は、経営転換又はリタイアする農業者の農地を有効活用するため、農地中間管理機構に農地を貸し付けた場合に協力金を交付するものである。

実績については、平成26年度の制度発足以来、累計で約87・7ヘクタールの集積実績があり、今後も本事業を活用したいと考えている。



農地を有効活用して農業の振興を